

サーキット走行初心者へのワンポイントアドバイス

<ブレーキパッド 及び ブレーキフルードの重要性！>

ブレーキパッド編

サーキットでは高速からのハードブレーキングが多い為、ブレーキを構成している部品は高温になります。標準装着の純正ブレーキパッドは、サーキット走行を視野に入れて製造されていないため、ほとんどの車両は耐熱温度が不十分です。そこで、スポーツブレーキパッドの装着をオススメしております。

耐熱温度を十分に確保したスポーツブレーキパッドを装着すると、制動力がアップすると同時に、高温な状況でもしっかりブレーキ性能を維持出来ます。

また、ブレーキがしっかり効く状況が維持出来ると、気持ちの面でも余裕が生まれ安心してドライビングレッスンに参加出来ます。

その他のメリットとしては、純正のブレーキパッドは弱い踏力でもブレーキが効くように、踏み始めのペダルタッチが強くなっています。スポーツブレーキパッドは、ドライバーの踏力に対しブレーキの効きがリニアに追従し、コントロールしやすく効きも安定するので、スポーツブレーキパッドの装着をオススメします。

ブレーキフルード編

今度はブレーキパッドを動かすための油圧系統に着目します。ドライバーがブレーキペダルを踏むと、ブレーキマスターシリンダーのピストンが押されます。すると、ブレーキラインに充填されているブレーキフルードの油圧が上がります。ブレーキラインの中は密閉されているため、ブレーキフルードの油圧はそのままブレーキキャリパーのピストンにかかり、ピストンがブレーキパッドを押しブレーキが効きます。

標準の純正ブレーキフルードだと沸点が低いため、サーキット走行をしていると高温になり沸騰してしまう場合があります。これをベーパーロック現象と言います。

ベーパーロックすると、本来ブレーキフルードで密閉されたブレーキラインに空気が入り、制動力が著しく低下します。最悪のケースはブレーキが効かなくなります。

安心してドライビングレッスンに参加して頂くために、ブレーキフルードも沸点の高いスポーツ走行用の物に交換をオススメします。

また、一度熱を加えたブレーキフルードは、沸点が下がってしまうため、定期的に交換することをオススメします。

